

# 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 3月 30日

仕事の内容	敬老金支給事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業 5 高齢者慶祝事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	9月15日現在で88歳、99歳の市民			→ 65歳以上の市民(毎年9月1日付の数値で計測)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	敬老の意を表されることで、生活意欲の向上と生きがいの増進に繋がっている			→ 支給者数
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	9月15日現在で88歳、99歳の市民に対して、5,000円を支給した。9月15日から30日の間に民生委員が個別に訪問し、直接渡している。			→ 9月15日現在で88歳、99歳の市民

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,652	22,103	22,484	
	成果指標	②の数値	人	1,166	262	296	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	人口統計による推計				
活動指標	③の数値	人	77歳 887 88歳 255 99歳 24	88歳 248 99歳 14	88歳 280 99歳 16		

3 経費	事業費(実績)		円	5,830,000	1,310,000	1,480,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	5,830,000	1,310,000	1,480,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	823,300	413,350	412,650	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	6,653,300	1,723,350	1,892,650		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	昭和33年、東京都の敬老金支給事業にあわせ、祝品を贈呈することから始まり、その後、現金を支給するようになった。高齢者に対して、敬老の意を表すことを目的としている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 東京都の敬老金支給が75歳以上を対象としていたのに対し、当市(当時は「大和町」)は70歳以上を対象としていた。昭和51年度からは9月15日と12月15日の2回支給していたが、平成12年度からは9月15日の1回のみでの支給に変更された。その後、平成13年度から平成27年度までは(77歳、88歳、99歳)の節目での支給となっている。高齢者数の増加に伴い、平成28年度からは、支給対象者が88歳と99歳に見直された。また、近年は高齢化の進展に伴い単身高齢者や高齢者のみ世帯が急増し、問題の早期発見や孤独死・孤立死を防止するため、実態把握も兼ねている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし
-------------	--

仕 事 の 内 容	敬老金支給事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	<table border="1"> <tr> <td>取り組みは無い</td> <td>取組手法</td> <td> 【取組手法の種類】  ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成  ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( ) </td> </tr> </table>	取り組みは無い	取組手法
取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	特になし		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 99歳の敬老金の支給は、100歳を対象とする長寿祝金の支給と連続する。 慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 高齢者の生活に必須とはいえない事業に、公費を充当することの意義について検討する必要がある。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
	特になし		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は維持する。